

アール・ブリュット

表現や個性、ほとばしる芸術

熊谷敏江

Toshie KUMAGAI

熊谷の日常には多様な創作活動が溶け込んでおり、動物や植物などの愛らしいイラストから、タオルの糸をほどいて作る立体物まで、奇想天外で創造力豊かだ。特にタオルの糸でつくる立体物は、手元を見ずに器用な手つきで一本ずつ糸をほどき、細く繊細な糸の塊となったオブジェを生み出している。



(イト) 糸 制作年不詳

萩尾俊雄

Toshio HAGIO

「作品制作」ではなく「おもちゃづくり」の視点で制作している。素材は広告紙とセロハンテープで、特にデパートの広告紙を30年以上愛用している。「細い方がカッコいい」という美意識から、怪獣の形状は鋭く進化した。主な出展歴に「アール・ブリュット展 想像を超える創造」(2015-16年/佐賀県立美術館)などがある。



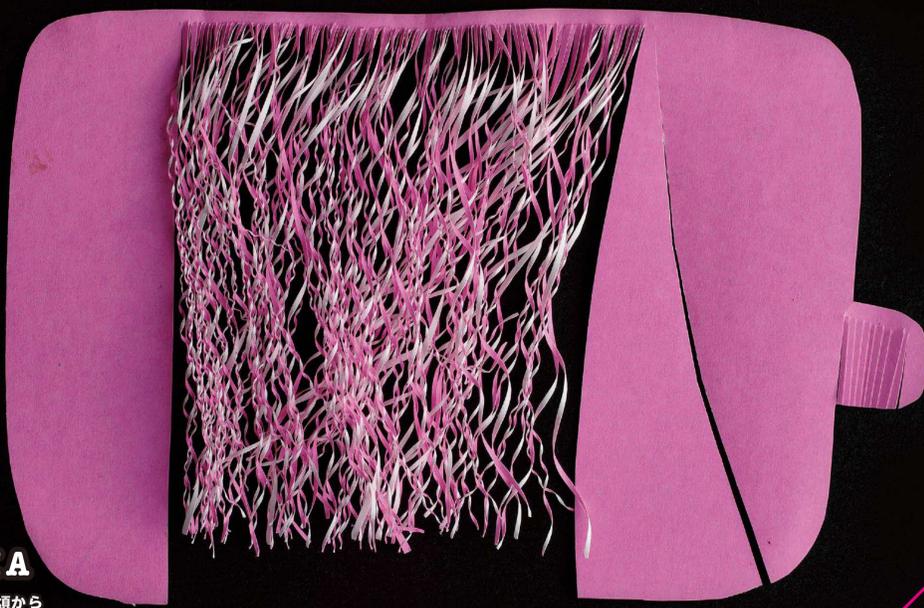
(無題) 紙、セロハンテープ 2014-2015年

2025年
7月-12月中旬
熊谷敏江、萩尾俊雄

藤岡祐機

Yuki FUJIOKA

幼少期から紙を切ることを好み、12歳頃から現在のよう制作に至った。広告や展示会のチラシなどの紙を用い、1mmにも満たない間隔で、鯨のひげのように正確かつリズム的に紙を切っていく。主な出展歴に日本のアール・ブリュット「KOMOREBI」展(2017-2018年/フランス国立現代芸術センターリュウ・ユニック)などがある。



(無題) 紙 2009-2012年

2025年
12月中旬-3月
藤岡祐機

地元商店街と社会福祉法人愛成会のコラボにより、中野のまちでアール・ブリュット*の魅力伝えるアートイベント「NAKANO街中まるごと美術館!」を、全国に先駆けて2010年から15年以上にわたって開催してきました。「まち」「文化芸術」「福祉」が三位一体となったこのイベントでは、人々の日常にアール・ブリュット作品が溶け込む空間をつくり、多様な人の表現や価値観に触れる機会を創出しています。

ここ「ナカノのナカニワ」では、国内外で活躍しているアール・ブリュット作家の作品を紹介しています。独自の発想と表現方法によって生み出された個性あふれる作品には、人が持つ揺るぎのない表現の力があります。

アール・ブリュットの世界に触れることで、一人ひとりが自分らしく、ありのままに輝ける、これからの共生社会を一緒に考えていくきっかけとなれば幸いです。

*フランスの画家、ジャン・デュビュッフェ(1901-1985)が提唱した概念であり、専門的な美術教育を受けていない人などが、内なる衝動から独自の表現方法によって生み出す芸術作品を指します。アールは「芸術」、ブリュットは「生のままの」という意味を持ち、「生(き)の芸術」とも呼ばれています。

Art Brut

中野区役所での関連情報

カラフルな動物たちが織りなすウォールアート

中野区役所の1階にあるミーティングルームAには、佐藤朱美さんの絵画による巨大なウォールアートが設置されています。個性あふれる動物や植物の世界をお楽しみください。



アートイベント情報

NAKANO 街中まるごと美術館! アール・ブリュット 一人の無限の想像力を探求する

中野区の商店街と社会福祉法人愛成会が連携し、まちを舞台に毎年開催しているアートイベントです。日常の身近な場所で、障害のある創り手を含む多様な人の表現や価値観に触れる機会をつくり、多様性を大切にするまちづくりや人づくりを目指しています。



最新情報はこちら

📍 @artbrut.jp ✉ @artbrut_nakano 🌐 https://www.aisei.or.jp/kikaku/art-brut

お問い合わせ

社会福祉法人愛成会 法人企画事業部 (NAKANO街中まるごと美術館実行委員会 事務局)
〒164-0001 東京都中野区中野5-26-18
Tel:03-5942-7259 Fax:03-5942-7252 E-mail:kikaku@aisei.or.jp

